

産地リスク軽減技術総合対策事業のうち有機農業拡大支援事業
（有機農業拡大地区推進事業）に関する事業評価票

都道府県名 市町村名		岩手県 全域
事業実施主体名		岩手県有機農業連絡協議会
事業の概要		有機農業実施面積を増加するため、岩手県内に点在する有機農業者の現状を把握し、課題を明確化するとともに、それぞれの地域の特性を活かした環境保全型農業の技術的確立、地域ブランド力の向上、販売チャンネルの拡大、有機農業者の育成等を目的とし、インターネットを活用した情報共有や情報発信、生産技術向上のための講習会の開催、イベントの開催等に取り組んだ。
成果目標の 具体的内容		有機農業実施面積の増加
成果 目標 の 達成 状況	基準年 （平成26年）	51.87ha
	目標年 （令和2年）	391.31ha
	目標値	82.99ha
	達成率	1,090.7%
地方農政局長の意見		<p>計画どおり事業を実施した結果、県内の有機農業者を組織化することができ、協議会に参加する農業者数が増加したことから、有機農業実施面積の大幅な増加につながり、成果目標を達成した。</p> <p>本事業において、インターネットを活用した情報共有や情報発信を実施したことは、生産者の技術力や販売力の向上につながり、安定供給力や有機農業者育成力を強化するための適切な取組であったと判断できる。また、有機農業に関するイベントを開催したことは、生産者、消費者及び実需者間の関係構築の促進につながり、産地育成力を強化するための適切な取組であったと判断できる。</p>

産地リスク軽減技術総合対策事業のうち有機農業拡大支援事業
（有機農業拡大地区推進事業）に関する事業評価票

都道府県名 市町村名		宮城県 大崎市、美里町、涌谷町
事業実施主体名		J Aみどりの有機農業推進協議会
事業の概要		有機農業実施面積を増加するため、地区内における有機農産物の販売企画力の強化、生産技術力の強化、人材育成力の強化等を目的とし、消費者や実需者に対する有機農産物のPR活動の実施や、既存の取引先からの情報収集の実施等に取り組んだ。
成果目標の 具体的内容		有機農業実施面積の増加
成果 目標 の 達成 状況	基準年 (平成26年)	77.6ha
	目標年 (令和2年)	79.6ha
	目標値	88.8ha
	達成率	17.9%
地方農政局長の意見		<p>前回の事業評価以降、各種取組を実施した結果、販売企画力の強化等により有機農業実施面積は増加傾向にあるものの、平成27年度の有機不適合資材の施用と、平成29年度の土地区画整理事業により、有機JAS認証除外ほ場が発生した影響が大きく、成果目標の達成には至らなかった。</p> <p>このため、引き続き現地検討会の開催等による安定供給力の強化や、商談会の実施等による産地販売力の強化、技術研修会の開催等による有機農業育成力の強化を目指し、取組がより効果的に行われるよう、成果目標の達成に向けた改善計画の策定を指導する。</p>

産地リスク軽減技術総合対策事業のうち有機農業拡大支援事業
（有機農業拡大地区推進事業）に関する事業評価票

都道府県名 市町村名		秋田県 大潟村
事業実施主体名		大潟村有機農業推進協議会
事業の概要		有機農業実施面積を増加するため、地区内における有機農業者数の増加や有機農業の普及を目的とし、有機農業に関する技術研修会の開催や、消費者交流イベントへの参加による普及啓発活動の実施、農業者への研修指導の実施等に取り組んだ。
成果目標の 具体的内容		有機農業実施面積の増加
成果 目標 の 達成 状況	基準年 (平成26年)	468.26ha
	目標年 (令和2年)	325.35ha
	目標値	492.83ha
	達成率	-581.6%
地方農政局長の意見		<p>前回の事業評価以降、有機農業に関する技術研修会の開催等により有機農業への転換促進を図ってきたが、高齢化等による有機農業者の減少が影響し、有機農業実施面積は減少傾向にある。また、新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響で、労働力として期待された特定技能外国人の雇用が見送りとなったほか、各種イベント等についても規模縮小や中止が相次ぐ等、改善計画どおりに取り組む実施することができなかったことから、成果目標の達成には至らなかった。</p> <p>このため、引き続き消費者交流イベントへの参加等による産地販売力の強化を図りつつ、作業の省力化に向けたスマート農業技術の導入等により安定供給力を強化することで、成果目標が達成できるよう改善計画の策定を指導する。</p>

産地リスク軽減技術総合対策事業のうち有機農業拡大支援事業
（有機農業拡大地区推進事業）に関する事業評価票

都道府県名 市町村名		山形県 遊佐町
事業実施主体名		遊佐町収益力向上協議会
事業の概要		有機農業実施面積を増加するため、地区内における有機農業の推進や販売力の強化を目的とし、生産量の増加や雑草対策に関する有機農業学習会の開催、乗用除草機導入のための試乗会の開催、イベントの開催、消費者学習会の開催等に取り組んだ。
成果目標の 具体的内容		有機農業実施面積の増加
成果 目標 の 達成 状況	基準年 (平成26年)	35.6ha
	目標年 (令和2年)	22.5ha
	目標値	41.0ha
	達成率	-242.6%
地方農政局長の意見		<p>前回の事業評価以降、生産者の高齢化による作業負担の増加を理由に、特別栽培へ移行する生産者が増加したため、一時増加した有機農業実施面積が令和2年度に再び減少した。また、新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響で、加工品の新商品開発が延期となったほか、各種イベント等についても中止が相次ぎ、改善計画どおりに取組を実施することができなかったことから、成果目標の達成には至らなかった。</p> <p>このため、生産者の作業負担軽減に向けた乗用除草機の導入促進等による安定供給力の強化や、加工品の新商品開発、イベントの開催等による産地販売力の強化について、取組がより効果的に行われるよう、成果目標の達成に向けた改善計画の策定を指導する。</p>